

基礎ゼミ「少子高齢化社会の家族」

## 第6講 他人との対話

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 研究の完成度を高めるための意見交換

### 1 課題

作成してきた問いと答えの表について、意見を交換する。

- 批判的に
- 細かいところの論理的整合性
- 全体的な一貫性
- 自分のもっている知識との矛盾

### 2 注意すべきポイント

前回資料参照

### 3 今後の予定

#### 3.1 各自面談

今週中に、もう一度面談の機会を持ちます。日時は今日決定。

#### 3.2 発表会

7/2 の授業では、各自の研究成果について発表をおこないます

- 発表内容についての資料を人数分 (6) 用意する (初回資料 にしたがって簡潔にまとめる)
- ペアを組み、互いに紹介する
- 紹介者から研究内容を紹介 (2分)、そのあと自由に質疑 (15分)
- 紹介者との間で事前に打ち合わせしておくこと。集まるのが望ましいが、できない場合はメール連絡等でもよい

#### 3.3 口頭試問

7/9 に、個別に口頭試問をおこないます。1人15分程度。時間はそれぞれ決めます。

発表会の時の資料から改訂した部分がある場合は、改訂後の資料を持ってくること。試問ではいろいろなことを聞かれる可能性があるので、参照する可能性のある資料を準備しておくこと。

口頭試問の際に提出された資料が、レポート確定版として成績評価の対象になります。

#### 3.4 基礎ゼミ成果発表会

9/28 (金)「基礎ゼミ成果発表会」が開催されます。口頭発表とポスター発表があります。詳細は <http://www2.he.tohoku.ac.jp/center/kisosemi/kisosemi2018.pdf> を参照してください。

発表希望がある場合は、7/20までに、田中までお知らせください (7/23までに申し込む必要があります)。

希望者については、発表やポスター作成についての指導を別途おこないます。